

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

寺院でしたが室町時代に荒廃しました。江戸時代初期に永源寺の一絲文守が御水尾上皇から資銀と京都御所の古材を賜り、寛文4(1664)年には、黄檗宗の僧龍溪性潜を迎えて再興され、現在に至ります。

勝長神社にまつて奉納された鎌の絵馬



大字松尾

大字松尾は、日野地区の北西部に位置しており、東で大字河原、南で大字大窪・日田、西で上野田・大谷、北で安部居・鳥居平と接しています。古代から中世にかけては日野牧の一部として推移し、浄厳院(近江八幡市)過去帳(天正8(1580)年7月15日付の中に「日野松尾」の名が見えます)。

松尾の集落は2か所あり、村落成立時にまず北部高台の集落が形成、16世紀ごろに城下町「日野町」の成立により、南端部の町場が形成されました。江戸時代初頭の慶長14(1609)年になると、高台の集落と町場が切り離されそれぞれ「松尾山村」「日野松尾町」となりました。松尾山村(現松尾一区)の領主は、幕府領・松山藩領・館林藩領・甲府藩領などめまぐるしく変遷した後、明治8(1875)年、再び町場と合併し現在の大字松尾の範囲となりました。

井林神社(北山王宮)

松尾一区集落の東側の字「井林」に存在する井林神社は、社伝によると永正年間(1500)ごろ、日吉山王の神を分祀したもので、明治以前は山王権現と称していましたが、明治以降、井林神社に改称したとされています(『滋賀県神社誌』)。大字大窪の日枝神社すなわち南山王宮に対して、北山王宮と呼ばれ、4月12日には本町通り北側の大窪と松尾二区の氏子によりホイノボリ行事が行われています。

勝長神社(草無しの社)

集落の西側の字「里ノ内」にある勝長神社は、天正年間に焼失し、その後再興されましたが、創祀年代は不明です(『滋賀県神社誌』)。

「草無しの社」とも呼ばれており、皮膚病のクサ(瘡など)を治してくれる神として信仰されてきました。

草(クサ)を取り除くのは鎌であることから、鎌の絵を描いた絵馬を奉納するクサ治療の願掛けがかつて行われており、また境内の草を抜いて願掛けをするクサが治るといって信仰から、境内の草がなくなり、草無しの社と呼ばれたといういわれを記した石碑が明治10(1877)年に建立されています。

正明寺

集落の東端に位置する正明寺は、寺伝によると、もとは聖徳太子開基の天台

正保2(1645)年に建造された本堂は、桃山建築の粋を凝らした優美なもので、町内唯一の建造物の国指定文化財となっています。本堂に収められる木造千手観音立像や不動明王・毘沙門天立像も国指定の仏像です。

高台にある経堂も元禄9(1696)年建造の類例の少ない経堂として国指定文化財であり、ここに収められた鉄眼版一切経も仏教印刷史上の貴重書として国指定を受けています。

また、禅堂に収められている木造大日如来坐像も、鎌倉時代初期の優品として国指定文化財となっているなど、黄檗宗の大寺院にふさわしい貴重な文物を伝えています。



正明寺本堂

◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-520008



みんなのとしょかん

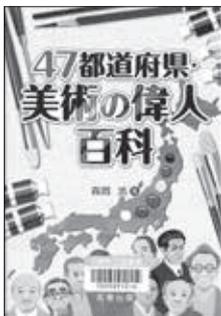


本の紹介

『47都道府県・美術の偉人百科』

森岡浩／著 丸善出版

絵画、彫刻、版画、陶芸、染色などさまざまな美術家とその作品、生涯をわかりやすく紹介しています。日野町ゆかりの偉人についても、江戸期8代將軍吉宗の時代に活躍した画家の高田敬輔やその弟子月岡雪鼎などが掲載されています。



図書館からのお知らせ

○スマートフォンで利用カードが表示できるようになりました!

スマートフォン版の図書館ホームページにログインすると、ページ上部にバーコードが表示されます。こちらを利用カードとしてお使いいただけます。

ログインには、利用者番号とパスワードが必要です。ご利用の際はスクリーンショットではなく、画面を直接ご提示ください。



図書館ホームページ

行事予定

『おはなし会』 4月11日(土)11:00～(30分程度)
テーマ「春」※工作会も行います。

『おひざでだっこのおはなし会』4月18日(土) 11:00～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどを行っています。

『図書館ちびっこ広場』4月15日(水) 10:00～12:00
0～3歳のお子さんが対象です。

『えいが会』 4月19日(日) 14:00～
『春に散る』2023年／日本(133分)
ボクシングに命をかける男たちの生き様を描いた人間ドラマ。

◆問い合わせ先 日野町立図書館
☎0748-53-1644

4月							5月							
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
			1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	

●…休館日 ○…えいが会 ◇…託児サービス
 ■…おはなし会 □…おひざでだっこのおはなし会

日野町議会3月定例会議では令和7年度補正予算ならびに令和8年度当初予算をご承認いただきました。令和8年度は「時代の変化に対応し、日野の未来を育てる予算」と位置づけ、一般会計の予算規模は11.9億円となりました。当初予算の柱は「①子育て施策の充実」「②基盤整備と産業振興」「③未来への投資」の3点です。

「①子育て施策の充実」としては、新こども園の整備に向けた用地購入と実施設計委託、日野学童保育所「ヒノキオ」の保育室増設工事、病児保育事業所利用者支援の開始、子育て支援オムツ支給の開始、小規模保育事業所の施設整備補助、松尾公園や大谷公園における子どもの遊び場の拡充工事、小中学校のフリースクール利用助成の拡充、小学校における給食費の無償化などに取り組みます。

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

新年度がスタート

は、町道西大路鎌掛線の道路改良整備や橋梁の長寿命化工事等を実施します。農業振興では、ため池防災工事の事業計画作成、滋賀農業公園ブルーメの丘の町民入園料支援、中山間地域への支援拡充やスマート農業加算の導入、有機農法による農産物の振興事業を推進します。公共施設の長寿命化としては、広域農道石子山トンネルのLED化工事、わたむきホール虹の空調設備更新に向けた実施設計、東桜谷公民館・南比都佐公民館の照明LED化等を実施します。

「③未来への投資」としては、滋賀ステイネーションキャンペーンを契機とした観光コンテンツ創出事業や関係人口創出事業を新たに展開するほか、「チョイソコひの」運行地域拡大、日野菜の振興、近江日野商人に関する事業等を引き続き推進します。さらに、町立小中学校の電子黒板整備とタブレット端末の更新、日野中学校体育館への空調設備整備により、教育環境の充実を図ります。

なお、物価高騰等への対応として「日野町くらし応援クーポン券(町民1人当たり9000円分)」を3月中旬から順次お送りしております。4月15日から9月30日までの期限となっておりますのでご注意ください。本年度もどうぞよろしくお願いたします。